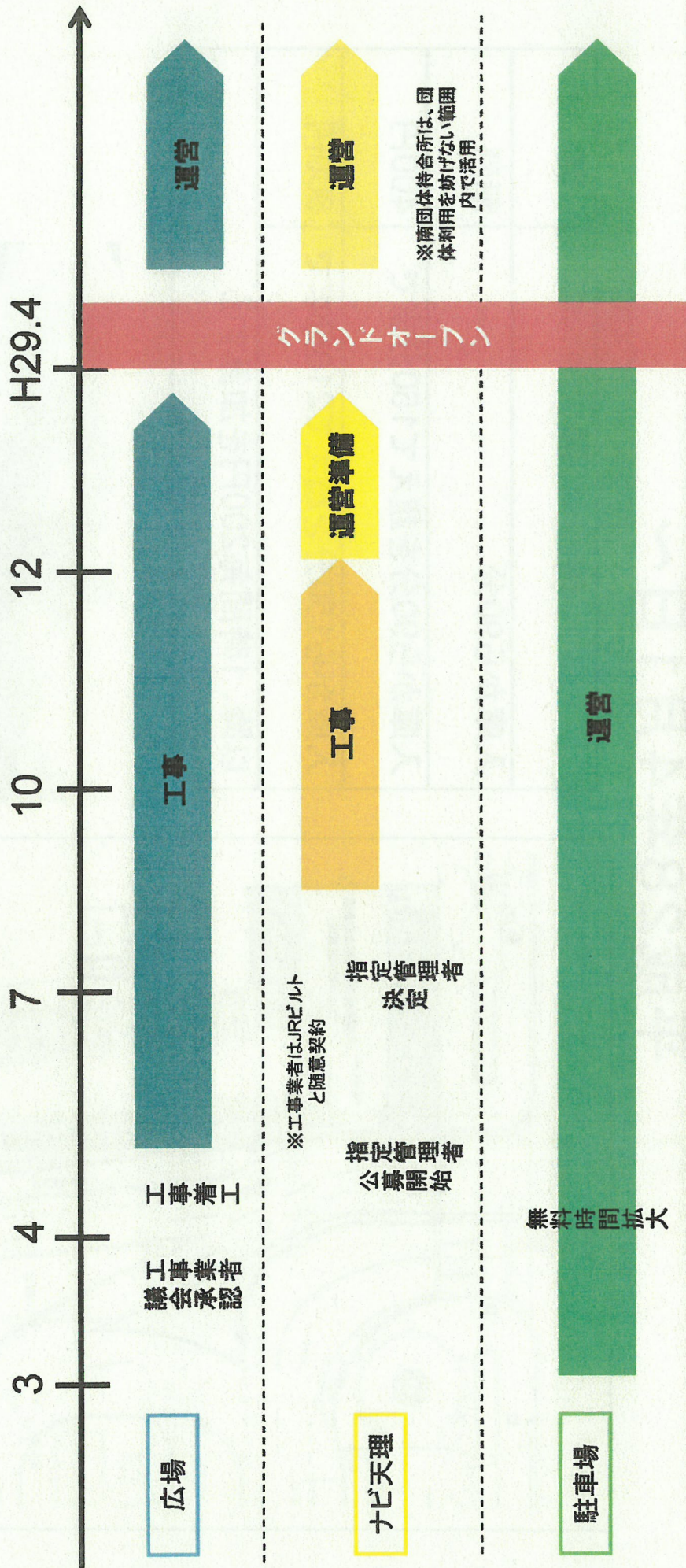


天理駅前広場空間整備事業 全体スケジュール

H28.3.29 修正版



すでにそこにある未来、 そこに生まれるべきこと

3月2日に誕生したアーケード商店街の産業振興館は1Fがサロンスペース、2F、3Fがテレワークセンターとなっており、天理駅とアーケード商店街をつなぎ、新しい働き方のカタチを創造する拠点施設となれることを目指していきます。常に新鮮で有機的な場所でいられるようみなさまにさまざまな情報を発信したいと考えています。

天理の伝統と、商品の開発について。
助成事業へとつなげる。

内容

デザイン ワークショップ 01

・2015年11月セミナーの振り返り
・ブランドとデザインの関係とは

古くから伝わる天理の伝統を
継承しながら、よりマーケット
ニーズに合った商品や、天理の街
を特徴づける商品の開発をしていく
ための第一歩目のセミナーです。現代に
おける伝統とデザインの共存の仕方とは。
高付加価値の実現のためのワークショップなど、
天理市内の事業者の方々を対象に実施いたします。

日時 | 3.15(火) 18:00-19:30

*受付開始17:30

会場 | 天理市役所地下しごとセンター
(奈良県天理市川原城町605)

2016
3.15
tue

2016
3.29
tue

日時 | 3.29(火) 18:00-19:30

*受付開始17:30

会場 | 産業振興館1Fサロン
(奈良県天理市川原城町249-1)

天理市の持つ魅力から天理ブランドとは何なのか、
その価値を考えていきます。また、3月2日に
新たに誕生した産業振興館は1Fがサロン
スペース、2F・3Fはテレワークセンター
となっています。ヒトとモノを循環させ、
新しい働き方のカタチを創造する
拠点施設としての様々な可能性
を参加者の皆様と探ります。

内容

デザイン ワークショップ 02

・デザインの課題発見と解決法
・テレワークセンターの可能性

天理ブランドとは一体何だろう。
そして産業振興館の可能性を探る。

お申込方法

お電話にてお申し込みください。☎0743-63-1001(内線208・215)

お申込締切

定員(50名)になり次第締め切ります。お気軽にお問い合わせくださいませ。

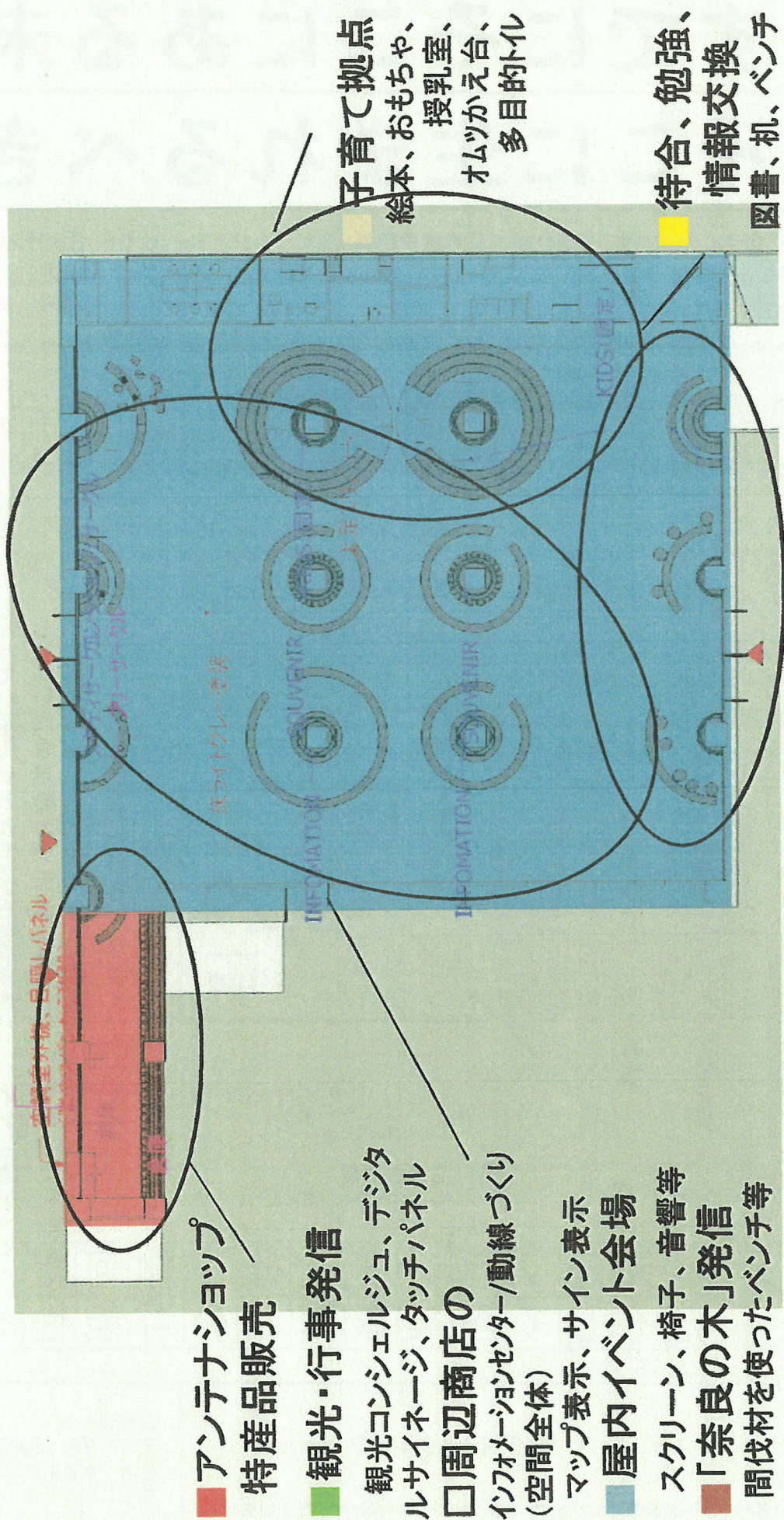
お問い合わせ

天理市役所 産業振興課 担当: 米田
住所: 奈良県天理市川原城町605
TEL 0743 63 1001 / FAX 0743 62 2880

南団体待合所・ナビ天理

運営事業者の公募に際して、求められること

・どういった事業者か ・運営に際して留意してもらいたい点 など



天理駅周辺地区の活性化に向けて、地域住民や関係団体の代表等で構成されるまちづくり協議会を立上げ、まちづくりについて検討を行います。天理駅前広場及びその周辺を核とする地区とし、市内外からも集客を見込める、にぎわいの拠点づくりを計画しています。そのため、天理駅西側の田井庄池公園を中心とした駅周辺地区「西ゾーン」でも魅力ある空間づくりが求められています。

本部会では、「西ゾーン」のあるべき姿から田井庄池公園のあり方を検討し、整備の方向性を定めることを目標としており、市民連携・協働によるまちづくりを目指します。去る2月23日に、第1回目の西ゾーン部会が開催されました。その内容を以下の通り報告します。

1 第1回 西ゾーン部会の概要

- 開催日時：平成28年3月23日(火) AM10:00～12:30
- 開催場所：田井庄池公園 及び 天理市役所会議室
- 内容

- はじめに—あいさつ、参加者紹介、主旨説明
主催者のあいさつ後、参加者の紹介と西ゾーン部会の主旨を説明。
- 天理駅周辺のまちづくりについて—天理市より説明
・天理駅周辺地区をはじめとした市西部地区～天理駅周辺地区
まちづくり基本構想(案)～等
- 現地視察—田井庄池公園
①機関車周辺②遊具及び広場周辺③田井庄池及び南側緑道周辺
について、魅力と課題、将来像のイメージをしながら視察
- 意見交換
現地視察の結果を整理し、西ゾーン(田井庄池公園)の将来像について意見交換。
- おわりのあいさつ・閉会

西ゾーン部会 委員

※副不問、敬称略

氏名	所属
1 西本 正男	街づくり協議会委員(川原城町区長)
2 坂口 登	街づくり協議会委員(川原城町副区長)
3 大橋 基之	街づくり協議会委員(市議会)
4 岡本 普弘	天理教団日大教会会長
5 堂 一隆	田井庄町本郷区長
6 仲西 敏	田井庄町出郷区長
7 神吉 豊美	關南 奈良県立大学地域創造学部准教授

《田井庄池公園の種別等》
 【公園種別】 都市公園(近隣公園) 近隣住民の利用に供する公園
 【面積】 9724㎡
 【維持管理】 市が田井庄町とシルバード人材センターに委託
 【田井庄池】 田井庄町が水利権を保有
 市が地下水を汲み上げて池に水を供給
 【機関車】 市がJR 西日本から無償で借受
 天理市教友会に清掃・飼取り等委託

2 西ゾーン部会について— 目的・目標・進行

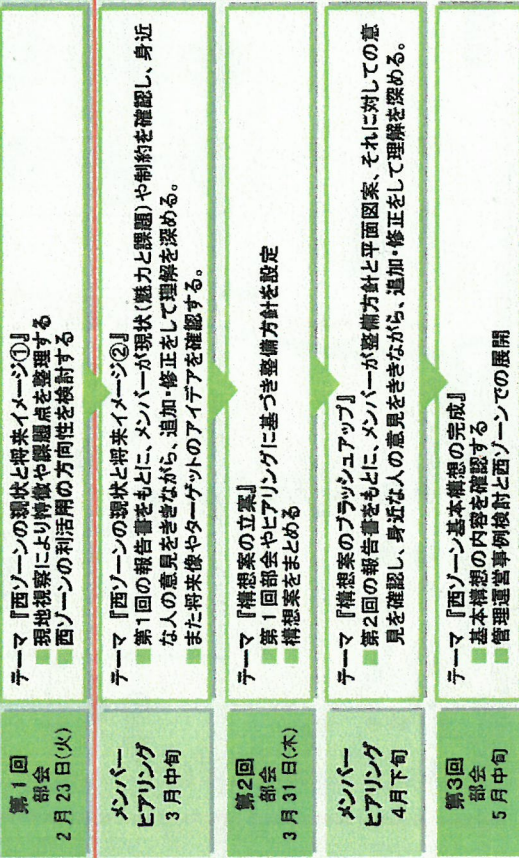
開催の目的

「天理駅周辺地区まちづくり基本構想」における田井庄池公園の位置づけや機能等を明確にし、整備の方向性を定めるため、近隣住民の代表、有識者、行政からなる「西ゾーン部会」を開催する。

到達目標

- ①天理駅周辺における西ゾーンとして本公園が果たす役割を明確にする。
- ②地域住民や利用者ニーズを踏まえた具体的な整備プラン(案)を作成する。
- ③事例等を踏まえ、管理運営案を検討する。

部会の進行(予定) ※進め方は今後の進捗により変更になることがあります。

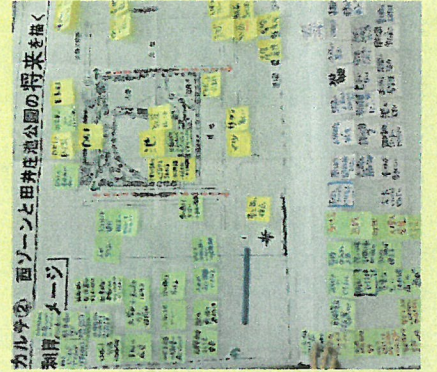


◆第1回 西ゾーン部会 について

顧問 神吉豊美准教授(奈良県立大学地域創造学部)のお話し
 公園は住民参加の発祥の地だ。公園を使ってもらうためには地域の意見を反映することが大切だからこそ、公園で住民参加の取り組みが始まった。

今後の部会では、公園にきている人の話をきくことも考えてほしい。例えば子どもや天理大学の学生の意見をどのように取り入れるか... そのようなアイデアもこの場で検討できると良い。

田井庄池公園は魅力的な公園だ。次回は、お金がなくてもできるという発想も期待している。例えば、機関車D51の内装が古くなっていったが、皆でワークショップで修復するとか、公園のベンチも皆でペンキを塗るとか... お金がないからこそアイデアで夢を描くことができる。それが西ゾーンでは重要だ。



はじめのあいさつ(機関車にて)



現地視察の様子



現地視察の様子



意見交換の様子

3 第1回 西ゾーン部会 意見のまとめ

(1) 西ゾーン(田井庄池公園)の現状把握について

【立地】	天理駅と直近の位置。『駅前』『駅西』に位置し人の流れがある。 ・周辺は、住宅や学校や詰所。安全で安心な環境。
【景観】	田井庄池とサクラやウメ等の花木。美しい風景。
【特徴】	・機関車 D51 のある公園は希少 ・『ロボット公園』の愛称。幼児から低学年の遊び場 ・土に触れられる貴重なオープンスペース
魅力	① 有効活用されていない ⇒ 駅前の立地と環境、駅前の1ha が活用されていない ⇒ 機関車(レトロな内装)が活用されていない
課題	② 駅前広場との連携と分担 ⇒ 駅前と駅西の環境は違いますが、連携は必要 ③ 安全性の確保 ⇒ 植栽等による死角がある(機関車周辺、トイレ周辺) ④ 施設の老朽化 ⇒ 利用若年層の幅りがある。遊びのアイテムが単調で魅力がない。 ⑤ 管理運営・マネジメント ⇒ 禁止事項が目立つ。閉鎖的。民間利用権。

(2) 西ゾーン(田井庄池公園)の方向性について

- 有効活用
 - ・立地を活かす: 産学官連携による活性化、若者世代の利用
 - ・魅力を活かす: 機関車の開放と活用、池とサクラ等花木の風景
- 駅前広場との連携と分担
 - ・連携: 動線のネットワーク、統一感(景観やデザイン)
 - ・分担: 機能の役割分担(周辺環境の違いに配慮、遊具等重荷)
- 安全性の確保
 - ・水辺の安全性: 現在は注意看板が随所に設置されている
 - ・防犯上の安全性: 樹木の剪定、低木等の整理(伐採)
 - ・遊び場の安全性: 遊具等の老朽化
- 利活用の拡大
 - ・利用者の拡大: 幼児・高齢者主体から若者世代の利用拡大へ
 - ・新たな施設: 天理と言えばスポーツ(池周遊ウォーキングコース)
 - ・体験型の利用: 草花とふれあうガーデニング活動等 各種体験
- 都市公園のマネジメント
 - ・民間活力の導入(カフェ、バーベキュー広場等)
 - ・体験型活動実施(管理活動の体験プログラム(遊具ポイント体験等))

- (3) その他の意見(部会運営等について)
- まず、西ゾーンの将来像・あるべき姿を設定して、その上で予算との兼ね合いを考えるべき。予算ありき、たたき案ありきで考えるのでは部会の意味がない。まずは委員のフリートークから部会をばじめるべきだ。
 - 少ない予算の中でできることはある。体験型の活用やソフト計画を検討することにより、少ない予算でも実現可能な提案はできる。樹木や草花の管理などは、委託するのではなく利用者の体験活動プログラム(ガーデニングなど)につなげることもできる。公園が、お金に換えられない体験の場になる。
 - 公園という財産を有効活用するべき。全国的に取り組みが進められている「公園がまちをうるおすおす」…「フア シリテイ」マネジメントの視点が重要だ。

4 田井庄池公園のカルテ

- ・魅力・駅前から方向性・将来像へ・

◆ 公園全体

【魅力】 田井庄池公園は立地、ロケーションが良い

① 天理駅と直近
『駅前』『駅西』に位置し人の流れがある

② 安全な立地
公園の周囲・近隣は住宅や大学や詰所

・駅前に1ha の広さの公園がある

【課題】 駅前の1ha の公園なのに十分に活用されていない

・天理駅周辺地区において『駅前』と『駅西』の統一感と役割分担(すみわけ)の検討が必要

【方向性】 産学官連携による公園の活性化

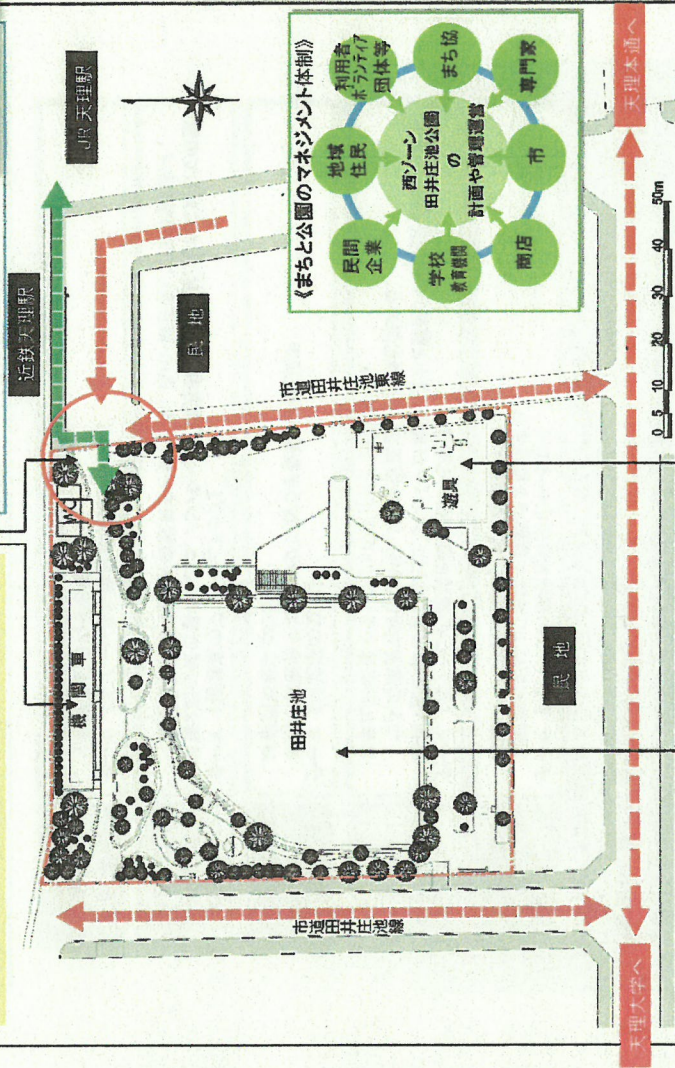
- ・都市公園の潜在能力を活かす

A. 機関車とその周辺

- 【魅力】 機関車のある公園は希少
- ・D51 のレトロな内装
- 【課題】 周囲の樹木で機関車が見えない
- ・内装の老朽化が著しい
- 【利活用方向性】
- ・開放して利活用

B. メインエントランス

- 【魅力】 天理駅に近接
- ・歩行者アクセス良好(歩道整備)
- 【課題】 送迎車等特種利用が多い
- ・風格がない機関車見えない
 - ・メインエントランスに禁止看板
- 【方向性】 駅前から入りやすい雰囲気づくり

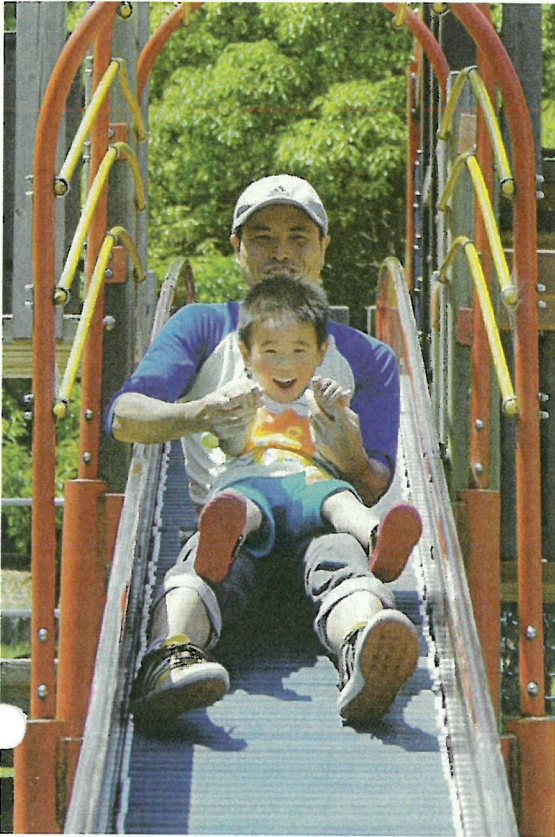


C. 田井庄池とその周辺

- 【現状】 先祖代々受け継がれた池
- ・田畑への雨水、地下水位の確保に役立っている
- 【魅力】 池の周りに草があり風光明媚
- ・池の周りを一周回遊できる
- 【課題】 水辺の安全性確保
- ・水はげが激しく、歩きにくい
- 【利活用方向性】
- ・ジョギング、ウォーキング、コース

D. 遊具及び広場

- 【魅力】 『ロボット公園』の愛称で親しまれている
- ・幼児から低学年がよく遊んでいる
- 【課題】 遊具に魅力がない(アイテム少)
- ・広場の形が凸凹で使いにくい
 - ・高学年以上の遊びに対応していない
- 【利活用方向性】
- ・青少年がいまいる活動できる場所
 - ・青少年のスポーツ天理はスポーツ
 - ・遊具のリニューアル



このまちの「豊かさ」をつなぐために

天理駅前広場

の整備について

平成29年4月、天理駅前広場が変わります。時代によって街の中心地が担う役割は移り変わってきました。時には多くの人々を効率よく運ぶことが必要になり、ある時には安心できる空間になることが求められました。いま、日本は少子高齢化社会に突入し、天理市も例外ではありません。これからも住み続けたいまちであるために、いま「駅前広場」ができることは何なのか。

「このまちが育んできた多くの魅力をまちの元気につなげたい」。市民協働で話し合う街づくり協議会が一貫して持ち続けてきた思いです。天理の芸術文化、スポーツ、ものづくり、教え、そして子供から高齢者までが絆をもって共に暮らしてきた日々の価値を、いまみんなで共有し、新たな価値を生み出していく。天理駅前広場はその拠点となります。

4月から来年3月まで、広場にお入りいただくことができなくなりますが、「にぎわい、つながる街空間」づくりのため、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

豊かな
天理の
ショーケース!

新しい 天理駅前広場の つかい方

みんなで
いろいろ
つかおう

外遊び場づくり
の先駆け

まちなかで外遊び



アクセスの良い駅前が、子供の外遊び場所に。ブランコ、すべる・のぼる「ありじごく遊具」、大トランポリンなど、幼児から小学生までが、10種類の様々な遊具で遊べます。

これからの学校・公園の整備へ

健康遊具で体づくり



天理大学体育学部さんと選んだ4種類の健康遊具と、簡単にできる歩行力測定遊具。近くに子供の遊び声がきこえるシニア世代の方々の体づくりの場です。

多世代が交わり
健康寿命を
楽しく延ばす

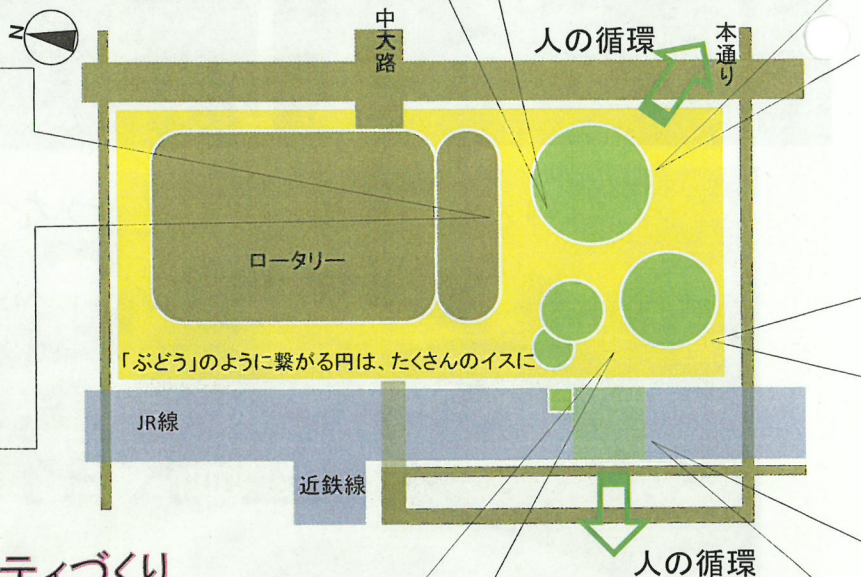
メディカルセンター
と連携

道路整備と連携し
市内車移動の中心地に

ゆったり駐停車



一足早く、43台と広くなってリニューアルされた駐車場。今年4月から1時間半まで無料に。買い物や広場遊び時にどうぞ。



みんなが顔をあわすコミュニティづくり

スポーツの裾野を広げる 味や手触りを届ける



数人での朝ヨガから、大人数でのノルディックウォーキング、スポーツクラブのPRなどには、芝生(天然・人工)エリアが使えます。雨天時には南団体待合所も活用いただけます。



野外ステージの周辺を中心にして、農産物や工芸品の市、フリーマーケットなどができます。広場の各所に電源を配置、またトイレ付近には給排水所も備え、フードイベントがしやすくなります。

防災・人権・福祉を知る



地域の暮らしを守るために広めたい、さまざまな取組や制度、技術も、人々が行き交う広場で多くの方にその大切さを伝えることができます。

整備の財源は?

総事業費(広場、ロータリー、駐車場、ナビ天理、南団体待合所)は約14億円です。国や県との協力のもと、**天理市の財政負担は半分以下に抑えられ**、平成27年、28年の当初の支出は2割以下で、残りの3割程度は起債により今後分割で対応します。

駅前の投資が数倍規模の街の整備を呼び込んでいます



名阪側道
(上総～南六条)
市中心部から京奈和自動車道・西名阪自動車道郡山下ツ道JCTを結ぶ
H28年度完成予定
国の事業



(仮称)九条バイパス
(東井戸堂～西長柄)
市内中心部を経由して南部と北部を結び周辺道路の混雑を緩和
H27年度より調査開始
県の事業



しごとセンター
(市役所地下1階)
ハローワークと企業支援を合わせ、市内就業に繋げる
H28年2月開設
国と市の連携事業



(仮称)奈良県国際芸術家村
(山の辺の道周辺)
県の特色ある芸術と文化の継承と活用を担う
県の事業

一過性のイベント会場から、 常時何かを発信し、市内のいろんな 人と場所と活動をつなぐ空間に。

天理駅前広場のデザインを担当

佐藤オオキさん

(デザインオフィスnendo)

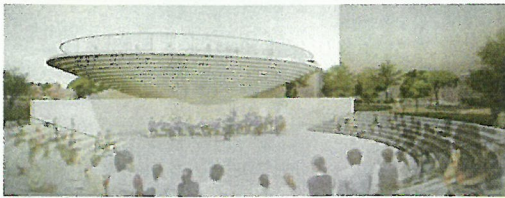
まちの魅力のひとつである「古墳」の響きや市民が「ふふん」と自慢げに思う語感。英語で「共に」「楽しむ」「喜ぶ」意味を合せ

Co-fu-fun (コフファン)

という作品名をつけました。



天理カルチャーの発信拠点



半屋根と横壁のある野外ステージには、約200人の客席。音楽やダンス、映像でのスポーツ観戦、ビジネスイベントなど、ファンのすそ野を広げるのに最適なオープンステージです。屋内には楽屋も。普段の練習や待合場所にも使えます。

芸術文化・スポーツの
見える化



活動が駅前広場から
つながる・広がる

食と周遊観光の拠点



天理や奈良の地元食材をつかった「食」を通じて地域の農の豊かさを発信。また観光客の方は、サイクリングやハイキングで、県内の各所への旅の拠点として利用できます。食育や婚活イベントにも。



石上神宮



古墳群

山の辺の道



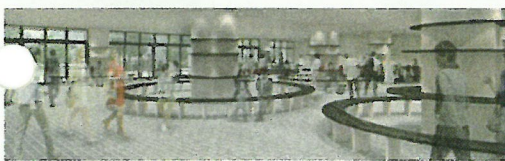
柿本人麻呂



天理参考館

食文化の見える化
観光地への誘導

南団体待合所・ナビ天理



現ナビ天理は地域の逸品のあるアンテナショップ。南団体待合所は団体利用を妨げない日については、周辺店舗やレンタサイクル、周遊観光情報を提供。絵本や授乳室を備えた小さなお子様が過ごせる空間も。

商品を磨きあげる



事業者の方々は、ものづくりの付加価値化、周辺既存店舗への誘導や新規顧客開拓などに利用していただけます。

学んで考える



ビジネスセミナーや子育て講座も、パブリックな空間のなかで、リラックスした雰囲気。行き交う人が「あれ参加したいな」と気づく場にも。

ものづくりの付加価値
市内情報の発信
絵本広場

教育、医療、福祉関係にシワ寄せが？ いえ、より着実に充実して進んでいます。

総合的な教育環境づくり

前栽小学校



今年3月に完成しました。経年劣化した校舎の建替えと、児童の急増により建設したプレハブ校舎の解消。多目的室や図書館では地域の方々の交流もできるようになりました。

健康を支えるシステムの充実

メディカルセンター



健診による病気の予防から医療、介護まで、地域の健康を広く担う地域包括ケア拠点としてリニューアルオープンしました。4月からは保健センターにあった休日応急診療所もこちらに移設されます。

安心の出産・子育て環境づくり

嘉幡保育所



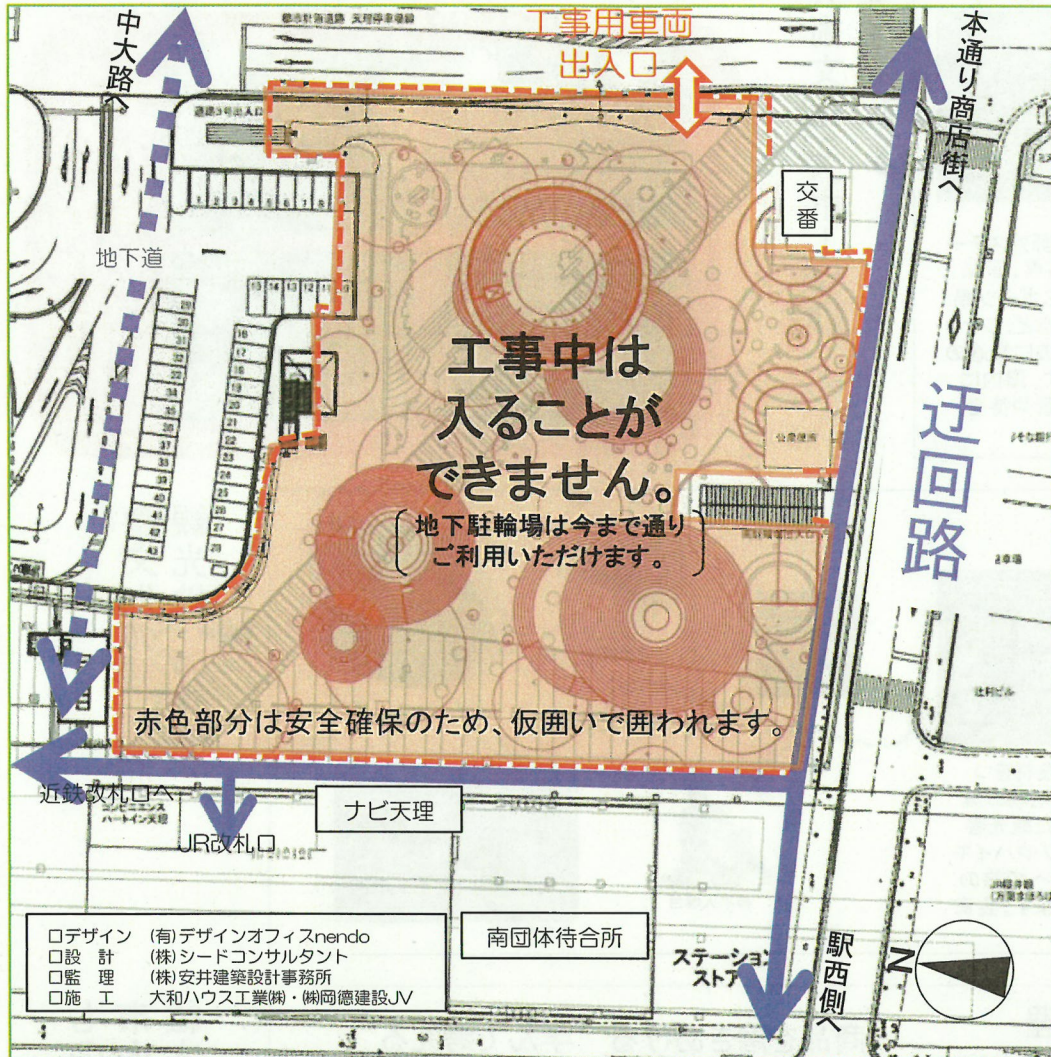
今年2月に完成しました。耐震基準を満たす園舎への建替え、リズム棟との連絡通路整備。園庭の拡張にもつながりました。

(仮)子育て世代すこやか支援センター
休日応急診療所のあとに、29年度に開設予定。妊娠前から、出産、子育てまで切れ目ないサポートを実施します。

☆ハード整備だけでなく、「子ども医療費助成の拡大」、「多子世帯の保育料の軽減」、「核家族・単身世帯への水道料金引き下げ」など「暮らし」を支える施策も進んでいます。

工事中の迂回ルート

4月下旬～来年の3月下旬まで広場には入ることができません。
誠にご迷惑をおかけいたしますが、迂回路のご利用にご協力
お願い申し上げます。



工事スケジュール

	平成28年度		平成29年度	
駅前広場	4月	工事	3月	グランドオープン
南団体待合所 ナビ天理	8月	工事	12月	

お問い合わせ電話番号

0743-63-1001

プロジェクト全体のこと
工事のこと

… 総合政策課統括係
… まちづくり事業課工務係

基本設備でイベントがしやすく

野外ステージ

- 音響設備
- 移動式スピーカー・マイク等
- 映像設備
- プロジェクター、スクリーン等
- 照明設備
- ピンスポットライト等

広場

- 電源設備
- 広場内各所
- 給排水設備
- 手洗い場1基 (トイレ付近)

南団体待合所

- 音響設備
- 移動式スピーカー・マイク等
- 映像設備
- プロジェクター、スクリーン等
- 照明設備
- ピンスポットライト等

安心して過ごせる設備

ユニバーサルデザイン

- 点字ブロック
- スロープ
- 階段手すり

セキュリティ

- 防犯カメラ
- 定期的な警備員巡回



フリー-WiFi

※南団体待合所は、団体ご利用を妨げない範囲での活用となります。

駅前広場の 変遷

昭和
前半



昭和42年以前。上)近鉄天理駅。下
左)国鉄丹波市駅。下右)国鉄の踏
切(近鉄天理駅前付近)

増加する鉄
道利用者の
利便性

昭和
42



昭和42年、天理総合駅が完成。
広場にはバスやタクシーの
ロータリーと駐輪場。

安全で快適な
空間のため、
駐輪場を地下
へ。

平成
15



平成15年、防災機能も備えた
現在の駅前広場が完成。

市全体の活
性化の中心
拠点

平成
29



平成29年、これまでの機能に
加え文化や産業、観光情報の
発信、賑わいを生む広場へ。